

# 手洗い！重要です



## 手足口病、流行中！ 家族内感染にご注意を

令和元年 7月10日  
富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)

### 感染症発生動向速報

(令和元年 第27週分・7月1日～7月7日)

#### 《インフォメーション》

#### ●手足口病

今週、手足口病の報告数が定点医療機関あたり 13.28 人となり、先週 (4.10) から増加しました (右図)。今年 は全国的にも患者数が増加しており、先週までの全国の 報告数は 6.70 人でした。富山県、全国ともに、国立感染症 研究所が定めた警報レベル (5 人) を上回っています。この疾患は、夏季に流行する傾向があり、例年 7 月末に 流行のピークを迎えます。患者は、1 歳をピークに 5 歳以下が全体の 9 割以上を占めています。

手足口病は、コクサッキーウイルスやエンテロウイルスなど複数のウイルスを原因とする感染症です。手のひらや足の裏、口の中に水疱を伴った発疹を特徴とします。発熱や食欲不振、のどの痛みなどが見られますが、一般的に軽症で、発疹は 3～7 日で消失します。まれに髄膜炎、脳炎、急性弛緩性麻痺などの神経系合併症がみられる場合があります。急に高熱が出たり、おう吐や痙攣 (けいれん)、意識が無くなったりするなどの症状が現れた際は、すぐに医療機関を受診してください。現時点で手足口病のワクチンはありません。

感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスによる飛沫感染や、便中に排出されたウイルスが手などを介して口から入る経口感染です。症状がなくなった後も、2～4 週間は便からウイルスが検出される **ことがあります**。次のことに注意して感染を予防しましょう。

- ▶ おむつ交換やトイレの後、調理や食事の前には石けんと流水で手を洗う。
- ▶ 保育所・幼稚園などの集団生活では、タオルの共用を避ける。
- ▶ タオル等の消毒には、希釈した塩素系漂白剤や熱湯を用いる。

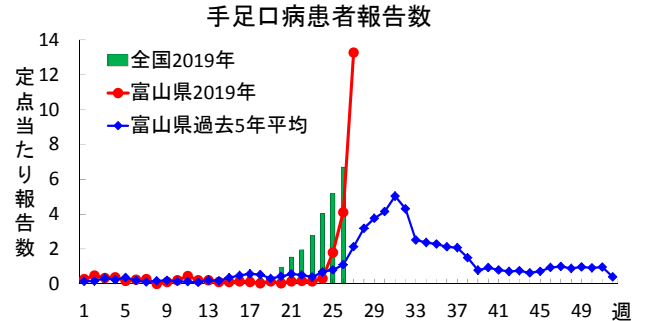
#### 《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 2 件 (①30 歳代、女性 ②90 歳代、男性)
- 四類感染症 レジオネラ症 2 件 (①第 26 週診断分：70 歳代、男性、ポンティアック熱型 ②40 歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 件 (80 歳代、女性)
- 水痘 (入院例) 1 件 (30 歳代、女性)
- 百日咳 19 件 (①～④第 26 週診断分 ①②10 歳未満、女性 ③10 歳代、男性 ④10 歳代、女性 ⑤10 歳未満、男性 ⑥～⑫10 歳未満、女性 ⑬～⑯10 歳代、男性 ⑰～⑲10 歳代、女性)
- 風しん 1 件 (40 歳代、男性)

#### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	手足口病	13.28 (↑)	4.10
2 位	感染性胃腸炎	6.90 (↑)	6.45
3 位	ヘルパンギーナ	3.03 (↑)	0.55
4 位	伝染性紅斑	1.79 (↓)	2.10
5 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.14 (↓)	1.97
6 位	咽頭結膜熱	0.48 (↓)	0.79

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>



○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第27週 令和元年7月1日～令和元年7月7日）

分類	疾患	今週報告分（第27週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			1		1	2	10	7	23	22	30	92
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	4		5	10
四類感染症	E型肝炎							2		1			3
	A型肝炎							1					1
	つつが虫病							1					1
	レジオネラ症	1					1	2		9	6	10	27
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
	ウイルス性肝炎									1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			1			1			3	1		4
	急性脳炎											2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2	3	3	8
	後天性免疫不全症候群											3	3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2	1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症									8	8	8	24
	水痘（入院例）					1	1	1				5	6
	梅毒									2	1	11	14
	播種性クリプトコックス症											1	1
	百日咳			4	2	9	15	1	4	15	35	67	122
	風しん					1	1		1			3	4
	麻しん									1	2		3
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ			5		4	9	1,426	912	3,124	1,691	3,673	10,826
				0.38		0.25	0.19						
	RSウイルス感染症		3		1		4	13	25	53	12	80	183
			1.00		0.25		0.14						
	咽頭結膜熱	5		1		8	14	120	20	212	46	163	561
		1.25		0.13		0.80	0.48						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	2	7	5	17	33	96	104	493	209	873	1,775
		0.50	0.67	0.88	1.25	1.70	1.14						
	感染性胃腸炎	30	45	26	15	84	200	843	680	1,041	441	2,616	5,621
		7.50	15.00	3.25	3.75	8.40	6.90						
	水痘	1				8	9	16	13	42	11	221	303
		0.25				0.80	0.31						
	手足口病	3	23	138	19	202	385	22	37	185	65	385	694
		0.75	7.67	17.25	4.75	20.20	13.28						
	伝染性紅斑	4	6	7	4	31	52	90	37	374	87	360	948
		1.00	2.00	0.88	1.00	3.10	1.79						
	突発性発しん			7	1	5	13	21	26	125	26	109	307
				0.88	0.25	0.50	0.45						
	ヘルパンギーナ	2	6	27	5	48	88	73	11	35	7	61	187
		0.50	2.00	3.38	1.25	4.80	3.03						
流行性耳下腺炎			1		1	2	1	7	8	1	17	34	
			0.13		0.10	0.07							
急性出血性結膜炎										12		12	
流行性角結膜炎							1	9	24	28	7	69	
細菌性髄膜炎											4	4	
無菌性髄膜炎							2					2	
マイコプラズマ肺炎								2	2			4	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							1		8	7	2	18	
インフルエンザによる入院患者（*）					1	1	42	42	52	98	100	334	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じる場合があります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。